2022年2月期 決算説明会資料

2022年4月20日

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE IS POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE IS POWER.



目次

財務報告	2
2022年2月期 決算概況 2023年2月期 業績見通し	
経営ビジョン	16
トピックス	19
株主様への対応	28
ESGへの取組み	31

SMILE IS POWER.



財務報告

2022年2月期 決算概況2023年2月期 業績見通し

2022年2月期 連結・㈱パルグループ 大算概況

前期を振り返って

新型コロナウイルスの感染拡大が、ほぼ通年に渡り影響を及ぼし続けたことで、前期は、想定以上に売上を確保することが困難な 状況にありました。

この様な中、"3COINS"や"Salut!"といった生活雑貨のブランドが大きく業績を伸ばしたことで、withコロナの経営方針と相 俟って、衣料事業の落ち込みをカバーし、売上高を底堅いものに支えてくれたと考えています。

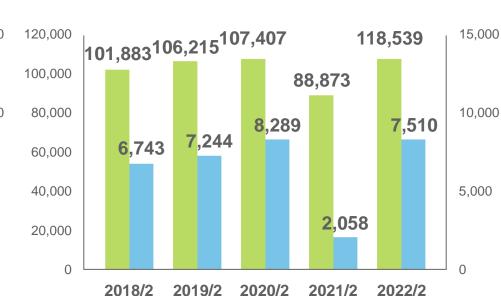
また、EC売上においては、前期以上の伸びを達成、特に、自社ECサイトのPALCLOSETの伸びが、厳しい衣料事業の売上を サポートするだけでなく、予約販売の増強によるプロパー消化を後押しすることで、粗利益率の改善、販売管理費の押し下げにも貢献し、 利益の全体的な底上げの誘因となりました。

単位:百万円



(株)パルグループ ホールディングス単体 + (株)パル ■ 売上高 ■ 経常利益





2022年2月期 (株)パルグループホールディングス連結損益状況 PAL GROUP HOLDINGS

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期			
			公表値	実績		
					前年比	公表值比
売上高	132,163	108,522	131,000	134,200	123.7%	102.4%
売上総利益	74,386	59,237	76,000	74,314	125.5%	97.8%
(売上比)	56.3%	54.6%	58.0%	55.4%	0.8%	Δ2.6%
営業利益	9,067	1,383	7,400	7,520	543.7%	101.6%
(売上比)	6.9%	1.3%	5.6%	5.6%	4.3%	_
経常利益	9,168	1,052	7,100	7,660	728.1%	107.9%
(売上比)	6.9%	1.0%	5.4%	5.7%	4.7%	0.3%
親会社株主に帰属する 当期 純利 益	7,028	270	3,900	4,001	1,481.9%	102.6%
(売上比)	5.3%	0.2%	3.0%	3.0%	2.8%	_

- 売上高は、厳しい環境が続くなかでも、最高売上を記録した2019年度を超し過去最高を更新した。ただ、衣料 事業の回復は依然7割強程度に留まる中、withコロナ対応で、全社で取り組むライフスタイル事業が底支えした。
- 利益面では、夏物や初秋物の時期に緊急事態宣言の影響が出て、在庫の処理により粗利益を落とす局面があった が、EC売上の伸張や、年末年初のリバウンドなどにより、afterコロナを見据えた、今後への回復の手ごたえを掴め た。

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期			
			公表值	実績		
					前年比	公表值比
売上高	107,407	88,873	112,107	118,539	133.4%	105.7%
売上総利益	61,310	49,244	64,296	66,229	134.5%	103.0%
(売上比)	57.1%	55.4%	57.4%	55.9%	0.5%	Δ1.5%
営業利益	8,321	2,116	6,760	7,296	344.8%	107.9%
(売上比)	7.8%	2.4%	6.0%	6.2%	3.8%	0.2%
経常利益	8,289	2,058	6,518	7,510	364.9%	115.2%
(売上比)	7.7%	2.3%	5.8%	6.3%	4.0%	0.5%
当期純利益	7,000	791	3,608	4,230	534.8%	117.2%
(売上比)	6.5%	0.9%	3.2%	3.6%	2.7%	0.4%

- 売上高においては、"3COINS"ブランドが、年間純増売上高120億円を達成し、厳しい環境の中でも大きく飛躍を 遂げた。店舗の大型化、300円1本の価格からの脱却、商品ラインナップ拡充、さらにECの開始など、コロナ禍の環 境下、一気に思い切った経営戦略を展開したことが、奏功した要因と考える。
- 衣料事業においては、夏、初秋の在庫が利益を押し下げたが、EC売上高の伸張、仕入れ数量のコントロールの徹底 などにより、、株パルでは、想定を上回る利益を確保することが出来た。

	2020年2月期 実績	2021年2月期 実績	2022年2月期 実績	前年比
売上高	15,862	12,701	12,843	101.1%
営業利益	815	△58	227	-
経常利益	835	△41	255	_
当期純利益	654	△78	△155	_

- 基幹ブランドone after another NICECLAUPが11月以降復調し、社としては12月 単月で過去最高益を出せました。 natural coutureも経常利益前年比800%を越え、当社にとっての第二の柱になりつつ あります。
- コロナ後も引き続き「EC」と「SNS」を強化し、リアル店舗への導線を広げ、来店客数の 回復を図ります。 また、営業赤字が続いているブランドは、売上が伸びているECを軸に、 立て直しを図ります。

		2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	前年比		
衣料							
	売上高	97,102	75,540	87,109	115.3%		
	構成比	73.5%	69.6%	64.9%			
	営業利益	6,701	△759	3,354	_		
	営業利益率	6.9%	_	3.9%			
雑貨							
	売上高	34,968	32,904	46,997	142.8%		
	構成比	26.5%	30.3%	35.0%			
	営業利益	2,329	2,144	4,176	194.8%		
	営業利益率	6.7%	6.5%	8.9%			
その他	3						
	売上高	92	77	93	120.8%		
		2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	前年比		
EC売	上高						
	ZOZO TOWN	11,340	13,560	17,424	128.5%		
	自社PALCLOSET	4,168	7,440	11,554	155.3%		
	その他	2,082	2,698	3,911	145.0%		
	合計	17,591	23,698	32,889	138.4%		
	対衣料売上高比率	18.1%	31.4%	37.8%	6.4P		

● EC売上高は、目標の300億円を突破し、昨年の伸張率も上回る結果となった。今期の目標400億円、来期の目標 500億円に加え、自社サイトPALCLOSETの比率を来期には50%まで引き上げていく方針。アプリ会員数も、 目標の600万に迫る583万アプリを獲得、今期は800万を目標としている。

主なブランド



Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、 世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。 今の気分をmixしたマイスタイルの発見。



Lui's

モテる男のワードローブをテーマに モード&ストリートのMIXコーディネートを提案。 着心地、カッティング、素材感を重視した商品を 国内外間わず編集し発信していく。

ルイス 店舗数 12店舗

3COINS

何度でも行きたくなる!いつ行っても発見がある! ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STO 3COINSは、あなたのちょっと"幸せ"をお手伝 いする雑貨店です。キッチン・バス・インテリアや軽家 電、食料品などの商品を、300円を中心として幅広 く取り揃えています。



販売費及び一般管理費

単位:百万円

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	前年比
(株) パルグループホールディングス単 体 + (株) パル	52,989	47,127	58,933	125.1%
連結	65,319	57,854	66,793	115.5%
販管費比率(連結ベース)	49.4%	53.3%	49.8%	△3.5P
人件費比率	18.5%	19.5%	17.6%	△1.9P
賃料比率	15.1%	14.6%	13.0%	△1.6P
広告宣伝費比率	1.3%	2.2%	2.5%	0.3P

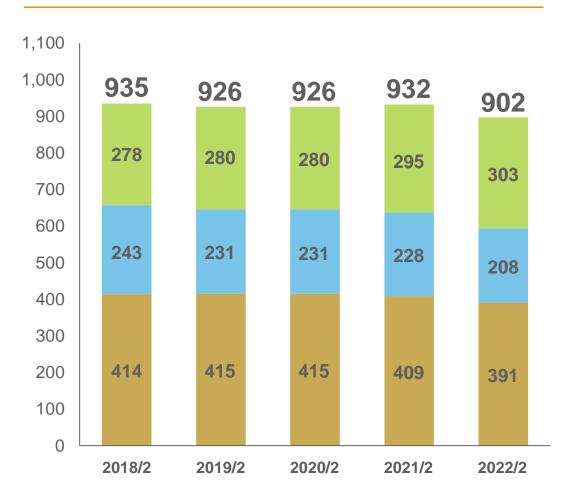
● 販売管理費は、コロナ禍の有事の計上状況から脱して、通常に戻りつつあります。 販売管理費率は、一昨年の水準まで落ち着いて来ましたが、人件費率では、まだ、賞与引当 など、業績の伸張に基づいて反映されていく項目もあり、一昨年対比でも、低い状況でした。 また、賃料比率は、多くのディベロッパーとの間での引き下げ交渉の結果、大きく減少してきています。

期末店舗数902店舗

■その他地方

(前期末比△30)

■ 関西圏 ■ 関東圏



• 出店状況

当期での新規出店は47店舗、退店は77店舗の純減30店舗となりました。

コロナ禍に対応して、当期も、地方での新規出店を増強しています。

3COINS事業で、19店舗の新店出店を 行う一方で、衣料事業では、6ブランドをスク ラップし、合計22店舗を閉店しました。

また、今後ブランドの大型化を推進するディスコートで、駅ナカ等の小型店舗9店舗を閉店しています。

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期
固定資産売却益	_	_	270
ゴルフ会員権売却益		-	1
投資有価証券売却益		333	_
特別利益合計	_	333	272
固定資産除却損	162	87	202
リース解約損	3	1	_
減損損失	387	793	1,659
関係会社株式売却損	10	-	_
特別損失合計	564	882	1,862

● 所有不動産の売却益を計上する一方で、減損損失を1,659百万円と大きく計上しました。 当社の会計上のルールより、2期連続で赤字を計上した店舗の減損を、コロナ禍の中でも 変更すること無く適用した結果、一昨年、昨年と連続で、コロナ禍の影響を受けて赤字と なった店舗が増加したことによる減損の大幅増加となりました。

連結貸借対照表

		2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	前期末比增減	備考
流	動資産	67,842	81,966	69,859	△12,107	
	現金及び預金	52,727	63,088	52,250	△10,838	
	売掛金	6,435	7,310	6,342	△968	
	たな卸資産	7,847	9,740	10,766	1,026	
	その他	830	1,826	500	△1,326	
古	定資産	27,112	26,220	23,868	△2,352	
	有形固定資産	7,780	7,677	6,608	△1,069	
	無形固定資産	690	549	467	△82	
	投資その他の資産	18,641	17,992	16,792	△1,200	
資	産合計	94,954	108,186	93,728	△14,458	
流	動負債	36,004	52,181	36,334	△15,847	短借15,000返済
古	定負債	12,323	11,652	10,004	△1,648	
負	債合計	48,327	63,834	46,339	△17,495	
純	資産合計	46,627	44,351	47,389	3,038	自己資本比率 50.5%
負	債純資産合計	94,954	108,186	93,728	△14,458	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,705	1,450	7,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,543	△1,188	△679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,068	10,098	△18,128
現金及び現金同等物の増加(減少)額	7,094	10,360	△10,838
現金及び現金同等物の期首残高	45,633	52,727	63,088
現金及び現金同等物の期末残高	52,727	63,088	52,250

● コロナ禍の中、経費が先行した2020年に資金繰りの安定化を目指して、短期借り入れ 15,000百万円を実行しましたが、順調にキャッシュフローが改善して来ましたので、前期 中間期末において、一括返済を行いました。

2023年2月期連結・㈱パルグループ + 株パル 業績の見通し PAL GROUP HOLDINGS

1. 连桁	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年上期	2023年下期	2023年2月期	前年比
売上高	132,163	108,522	134,200	70,000	80,000	150,000	15,800
売上総利益	74,386	59,237	74,314	38,800	44,300	83,100	8,786
販売管理費	65,319	57,853	66,793	35,600	38,800	74,400	7,607
営業利益	9,067	1,383	7,520	3,200	5,500	8,700	1,180
経常利益	9,168	1,052	7,660	3,000	5,300	8,300	640
特別損益	△564	△548	△1,590	△400	△400	△800	△790
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,028	270	4,001	1,600	3,000	4,600	599
粗利率	56.3%	54.6%	55.4%	55.4%	55.4%	55.4%	_

2 (株)パルグループホールディングス単体+(株)パル

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	前年比
売上高	107,407	88,873	118,539	130,000	11,461
売上総利益	61,310	49,244	66,229	72,700	6,471
販売管理費	52,989	47,127	58,933	65,100	6,167
営業利益	8,321	2,116	7,296	7,600	304
経常利益	8,289	2,058	7,510	7,600	90
特別損益	△193	△667	△1,647	△750	△897
当期純利益	7,000	791	4,230	4,250	20
粗利率	57.1%	55.4%	55.9%	55.9%	_

コロナ禍に加え、ロシア軍事侵攻に起因したコストアップの影響を見極めながら、着実に、売上高、利益の回復を推進していく方針です。

2023年2月期 業績見通しの前提

■1. 店舗数の状況

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期 (現時点の確定数)
新規店舗数	48	72	47	68
退店店舗数	48	66	77	29
店舗数純増	0	6	△30	39
期末店舗数	926	932	902	941

■ 2. 既存店売上の状況(パルグループ各社の合計)

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期 上期累計実績	2022年2月期 下期累計実績	2022年2月期 通期実績	2023年2月期 通期見通し
既存店売上推移	100.1	79.7	161.6	110.4	136.0	108.0
うち小売既存店売上高	98.2	71.2	225.6	103.0	164.3	106.0
うちネット通販既存店売上高	114.0	131.1	130.7	134.2	132.5	121.0

	2020年 3月	2021年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月
既存店売上推移	69.1	133.5	331.3	186.9	100.6	118.2	99.3	108.5	108.7	113.2	122.7	111.9	97.6
うち小売既存店売上高	66.1	131.4	680.1	247.3	93.1	110.7	91.0	98.6	100.6	107.4	115.1	109.1	86.9
うちネット通販既存店売上高	101.9	144.2	131.4	129.3	122.8	136.9	123.6	150.1	141.6	134.8	143.9	113.5	129.9

|3. 全店売上の状況

	2020年	2021年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月	通期
全店売上	71.7	143.6	389.3	203.9	105.8	124.7	106.8	113.5	111.3	117.0	126.0	112.5	100.1	128.8
うちEC	98.8	153.7	143.9	137.1	129.4	146.0	136.9	151.5	143.9	137.1	146.7	116.9	133.8	138.4

4. 客数、客単価の推移

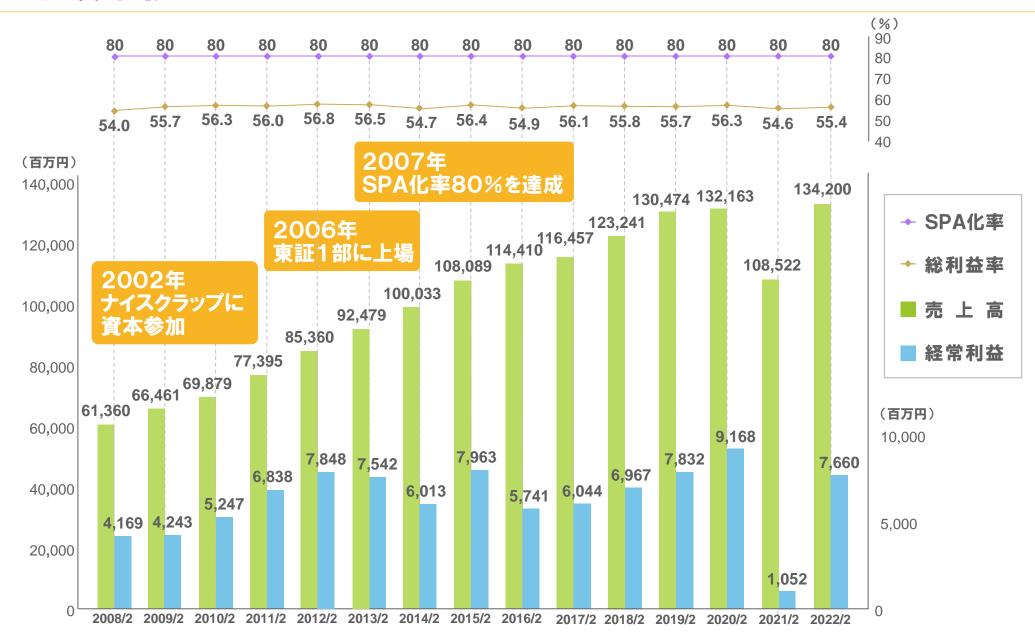
	客単価前々年比	客数前々年比
衣料事業	108.3%	104.9%
雑貨事業	107.4%	117.6%

SMILE IS POWER.



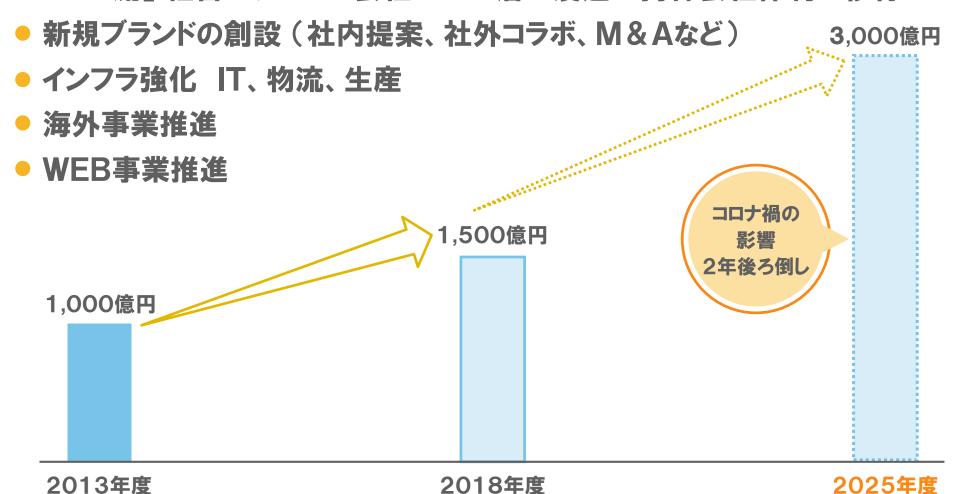
経営ビジョン

業績推移 中長期ビジョン



事業戦略

●『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・・持株会社体制へ移行



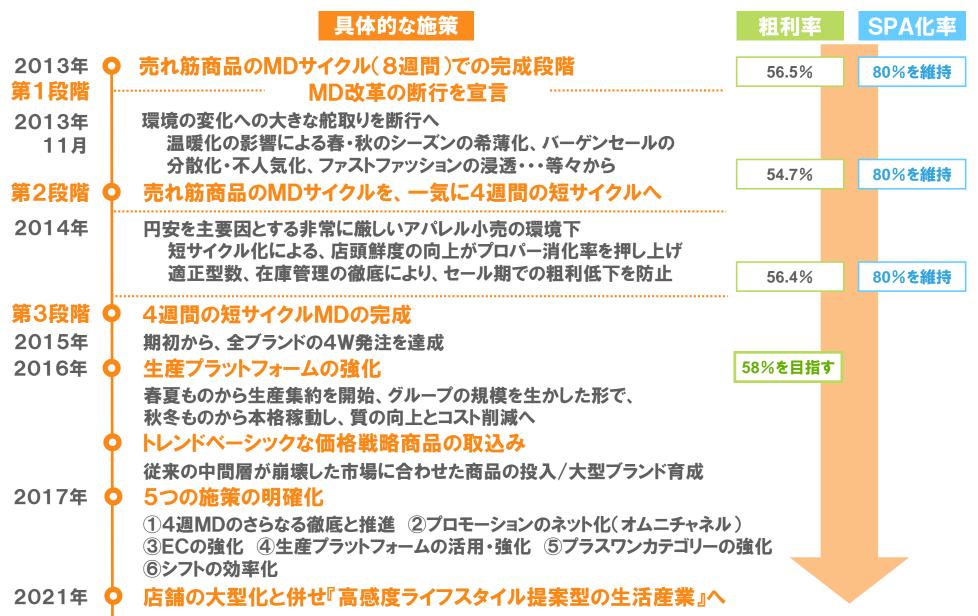
SMILE IS POWER.



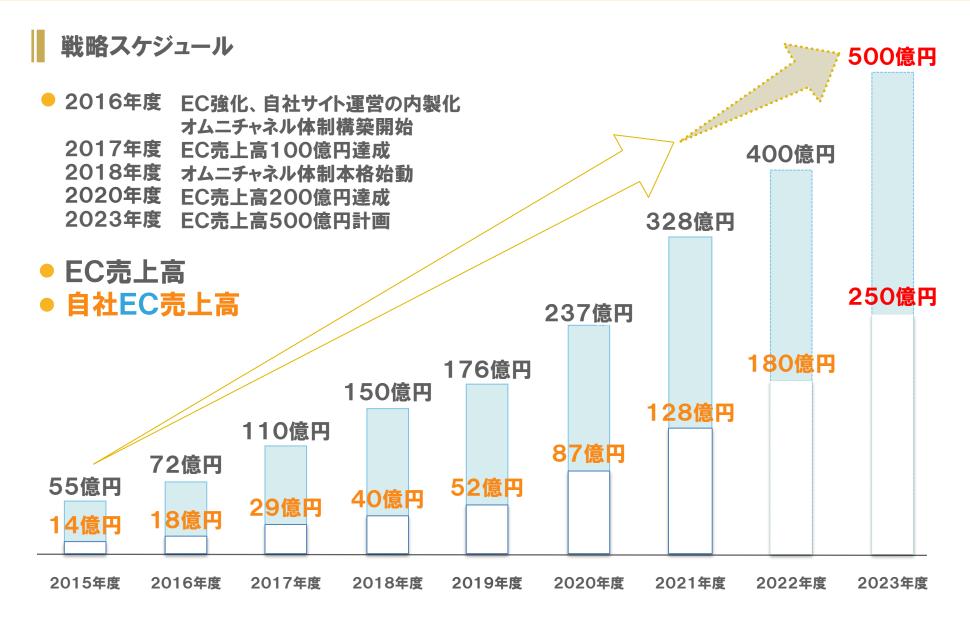
トピックス

- 1. MD改革の進捗状況
- 2. EC販売強化
 - ①. EC売上高の推移
 - ②. PALアプリ会員数の推移
- 3. サステナビリティへの取り組み
 - ① サステナビリティ・レポート2022を公開
 - ②. 気候変動への対応 環境データの公表
- 4. 3COINSの事業展開
 - ①. 東京原宿に旗艦店オープン
 - ②. JAXA(宇宙航空研究開発機構)とコラボ
- 5. オフプライスショップ、「ローカスト」 本格開始

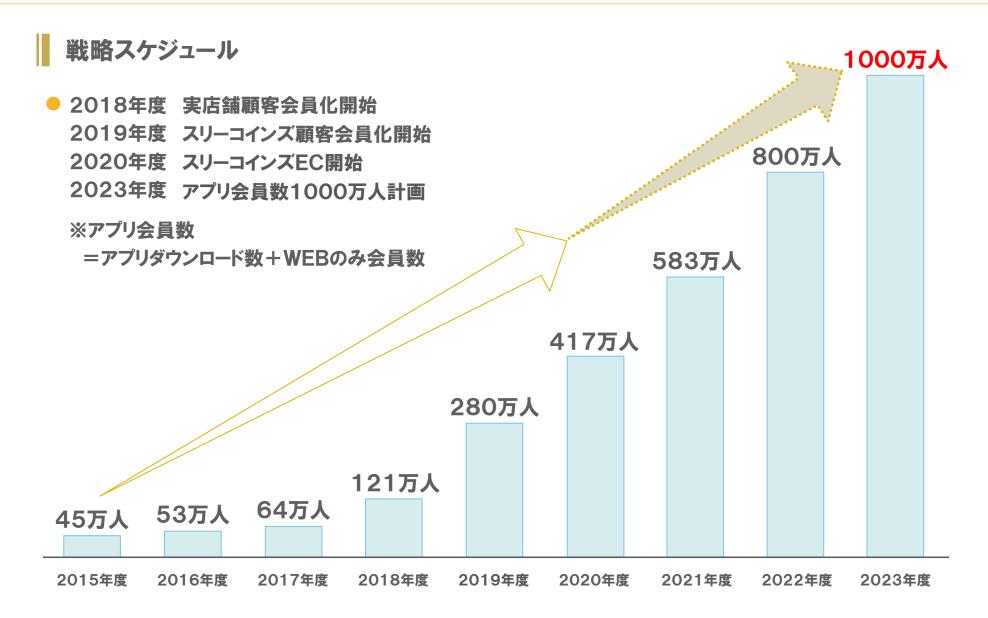
1. MD改革の進捗状況



2-1. EC売上高の推移



2-2. PALアプリ会員数の推移



3-1. サステナビリティへの取り組み

サステナビリティレポート2022を公開

最新版のサステナビリティレポートを2月28日に公開 いたしました。お客様、お取引各社、従業員、そして 投資家の皆様に向けて、パルグループが考えるサス テナビリティ経営の考え方や、本年度の具体的な 活動内容などをお伝えしております。特に本年度の レポートでは、私たちのバリューチェーンにおいて上流 のパートナーと強固な関係を構築しながら、価値共創 を目指すサステナビリティ経営に関する詳細を記載しました。



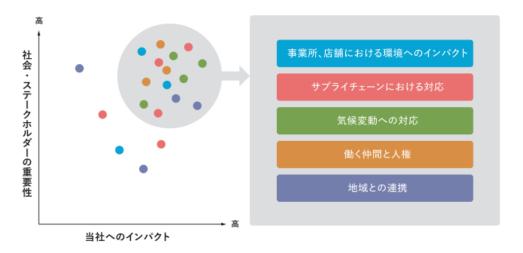
こちらからダウンロードできます

http://www.palgroup.holdings/sustainability/

マテリアリティの特定

当社の事業活動と関わりのある社会課題を認識しな がら、経営上のリスクとなりうる項目を検証しました。 そのうえで、ステークホルダーにとって重要であり、当 社にとっても経営インパクトの大きい課題として、5つ のマテリアリティを特定し、それぞれに対応する5つの ワーキンググループをサステナビリティ委員会内に組 織し、具体的な対応に当たりました。

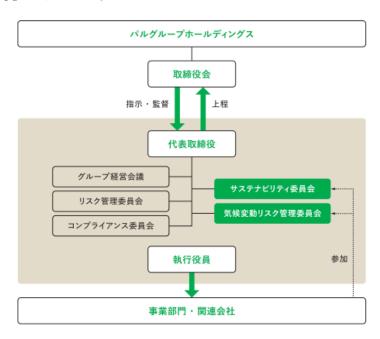
詳細はレポート内でご覧になれます。



3-2. サステナビリティへの取り組み

気候変動への対応

2021年にはサステナビリティ委員会に加えて、新たに気候変動リスク管理委員会を設置し、グループ全体の気候変動におけるリスクマネジメント機能をさらに強化していくことといたしました。両委員会ともに取締役会への直接の諮問機関として位置づけられており、気候変動を含むESGに関する方針策定や施策について審議を行い、取締役会への報告が定期的に行われます。



環境データの公表

パルグループでは、直接操業のみならず上流・下流を含むバリューチェーンにおける気候関連リスク及び機会は、経営に対し大きな影響を与えるリスクの一つと認識し、全社的なリスクマネジメントプロセスに統合し管理しています。

そこで本年度、グループ全体の2020年度のScope1、Scope2のGHG(温室効果ガス)の排出量を算出いたしました。

スコープ	2020年度
Scope 1 (燃焼使用による直接排出)	1,154
Scope 2 (電気・熱による間接排出)	27,311

今後は2020年度を基準としてGHGの削減に 努めてまいります。

4-1. 3COINS、東京原宿に旗艦店オープン

3COINS初のフラッグシップストアが誕

2021年11月12日に原宿に誕生した3COINS初のフラッグシップストア。これまでの大型店のラインナップ に加えここだけでしか手に入らない限定商品や、雑貨ブランド「ASOKO」のコーナーも設置。 フラッグシップストアとして、232店舗ある(2022年3月27日時点)3COINSのブランドイメージを牽引します。







4-2. JAXA(宇宙航空研究開発機構)とコラボ

宇宙生活/地上生活に共通する課題を解決する生活用品アイデアに選定される

株式会社パルが展開する雑貨ブランド「3COINS」は、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の「第2回宇宙生活/地上生活に共通する課題を解決する生活用品アイデア募集」に、「自在にカスタマイズが出来るうえに持ち歩くことまで出来る壁面収納」で応募した結果、総数65件の中から国際宇宙ステーション(ISS)搭載を目指す生活用品アイデアの一つとして選定されました。



3COINSは、地上でも宇宙でも「ちょっと幸せな日常」を提供する開発の実現へ

私たち3COINSは、「何気ない日常」を「ちょっと幸せな日常」にするために、生活の中に発見を生み、日常を豊かにする雑貨をお届けすることをコンセプトとしています。

今回、宇宙生活での課題や困りごとをまとめた「Space Life Story Book」を参考に、宇宙及び地上に共通する生活課題の解決やQOL向上を、3 COINSの人気カテゴリーである収納アイテムで実現できないかと考え、アイデアを提案いたしました。今後は、2023年以降の国際宇宙ステーション(ISS)への搭載を目指し、開発に取り組んでまいります。(2022年3月15日)

5. オフプライスショップ、「ローカスト」 本格開始

パルと、総合商社の双日とで共同開発

当社は、2021年3月に、新業態であるオフプライス・ショップを展開する「ローカスト株式会社」を設立しました。

主として他社の衣料、服飾雑貨、生活雑貨、化粧品、家電製品などの二次流通品、滞留在庫処分品、古着等を扱い、「売れずに廃棄・焼却されてきたものに、新たな商品価値を創造しながら、再循環させるプラットフォームを作りたい」と考えています。

ローカスト株式会社は、2021年10月に、総合商社の双日株式会社からの資本出資を受けて、パルの持つ販売力、MD力、店舗デザイン力と、双日の商品調達能力とを組み合わせる共同開発の形で、本格的にスタートし、21年秋に千葉県松戸市に、1号店キテミテマツドを、22年3月には、滋賀県守山市にピエリ守山店をオープンし、今後3年間で、50店舗を目指していく所存です。



3月18日にオープンしたピエリ守山店

SMILE IS POWER.

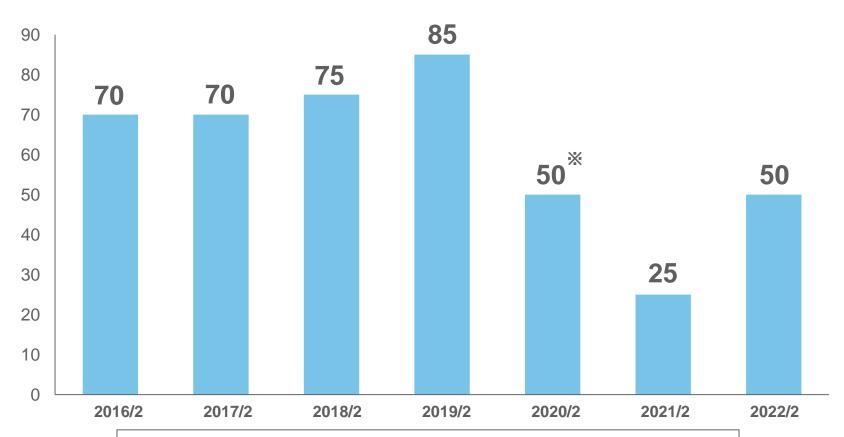


株主様への対応

- 1. 株主還策について
- 2. 株主優待制度について

1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、50円とする(前期比25円増配)



※2020年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済で、結果として、 2月期末に1株あたり100円へ増配した配当は、50円へ自動的に変更されました。

2. 株主優待制度について

『株式の投資魅力を高める目的で、株主優待制度の拡充を決定』

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を下記の通り拡充致しました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株(1単元)以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の4つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、 その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「ホステルのアサ」での宿泊コース料金の50%を割引
- ④金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」での宿泊コース料金の50%を割引(2020年6月1日より)
- 優待券の付与枚数・・・株式分割後も変更せず、実質倍増

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



SMILE IS POWER.



ESGへの取組み

- 1. 当社のESGの取組み
- 2. PALフォレスト事業(Environment)
- 3-1. 障がい者雇用(Social)
- 3-2.関西学院大学での寄附講座(Social)
- 3-③.パル井上財団での取組み(Social)
- 4.ジェンダー平等と働き方改革(Governance)

1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み(Environment Social Governance)は、継続的に利益 を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株 主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のた めの経営』の実現に向け、邁進することと考えています。









2. PALフォレスト事業(Environment)

「PALフォレスト事業」の取組み(Environment)

2012年より、世界遺産の奈良吉野の森で、植林活動に取り組んで来ました。日頃 使用する包装材の生い立ちに思いを馳せて、毎年多くの社員、家族が参加すること で、地球環境の維持の大切さを認識する、貴重な体験を共有しています。





3-1. 障がい者雇用(Social)

『障がい者の運営する』全国初のホテル、旅館を全面支援 (Social)

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を 運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、 事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業 での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えな がら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。







浜木綿くろしお山荘 → www.hamayu-kuroshio.com

3-2.関西学院大学での寄附講座(Social)

関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み(Social)

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西 学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、 流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。





美しい時計台のある関西学院キャンパス



『公益財団法人パル井上財団』での人材育成①(Social)

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生(留学生を含む) に奨学金を給付しています。

> バル井上財団は、将来ファッション産業に貢献しうる 人材の育成を支援いたします。

ランドを実際するパルグループの創業者一族である井上ファミリーにより、平成25年

学業・人物共に優秀で経済的課品により修学が困難とみられる日本人学生及び外国人

留字生に対し、選字機助を行い、主に、研究のファッション提案や関連する分野に基

info@palinoue.or.to

関内の大学や財物系の学校に存職する日本人学生及び外国人健学生に対する選挙会のを

〒541-0041 大切用中央区が53-5-29 日本中の改築機どに4

新し得る毎周な人材を育成することを目的としています。

法人概要 注人の名称 土な事長六章

電話/FAX

情報開汞資料

* 一般財団法人/CL非上財団 定款 [266KB]



『公益財団法人パル井上財団』 Webサイト

トップページ

パル井上財団

3-3.パル井上財団での取組み(Social)

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成② (Social)

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年より、服飾専門学校の流通 学科を専攻する学生によるロールプレイ大会を開催する運びとなりました。

『PAL FOUNDATION CUP』と名付けられた大会には、北海道から九州までの 多数の服飾専門学校から選抜された学生により、優劣の付け難い内容でのロールプ レイングを披露して頂き、今後、ファッションビジネスを目指す学生の目標となる大会に していきたいと思います。





徹底した『ジェンダー平等』と『働き方改革』(Governance)

『①ジェンダー平等』

当社には、「働きに応じて平等」という、クリアな人事制度評価上での指針が徹底されており、一人ひとりが、モチベーションの向上と共に、安心して働ける環境が整備されています。

	売上	粗利	人件費	在 庫	資 金	棚卸	合計	100点換算
第一事業部	396	116	84	71	• • •	• • •	• • •	98
第二事業部	353	78	77	• • •	• • •	• • •	• • •	86
第三事業部	310	93	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	•••
第四事業部	378	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	•••
第五事業部	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	•••
第六事業部	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	•••
第七事業部	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	•••
開発事業部	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	•••
全社合計	382	82	66	61	•••	•••	•••	85

『②働き方改革』

当社は、1日8時間に捉われないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を始め、 有給休暇や長期休暇の取得も容易になるなど、メリハリのある職場環境の醸成に努めてい ます。 社 是

「常に新しいファッションライフの 提案を通して社会に貢献」 グループ経営理念

「社員と株主みんなの幸せのための経営」

社 名 株式会社 パルグループホールディングス

所 在 地 【本社所在地】大阪府大阪市中央区道修町3-6-1京阪神御堂筋ビル10F

【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F

代表者 井上隆太

資 本 金 31億8,120万円

設 立 1973年10月

事業内容 婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売

店 舗 数 902店舗

広報室

TEL 06-6227-0308 FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。